

H28.8.30

先進・優良事例の展開促進に関する地方懇談会

徳島版「地方創生特区」事業について

徳島県地方創生推進課

1 徳島県における人口の将来展望

とくしま人口ビジョン

現状分析

- ◆ 1999年以降、連続で人口減少
現在は「約75万人」
- ◆ 合計特殊出生率は回復傾向にあり、
2015年（概数）は「1.55」と
前年比で0.09ポイントの上昇
依然、自然減は継続中
- ◆ 社会減は継続しているものの
その速度は若干緩やかに
- ◆ 国立社会保障・人口問題研究所の
推計による本県の2060年の
人口は「約42万人」

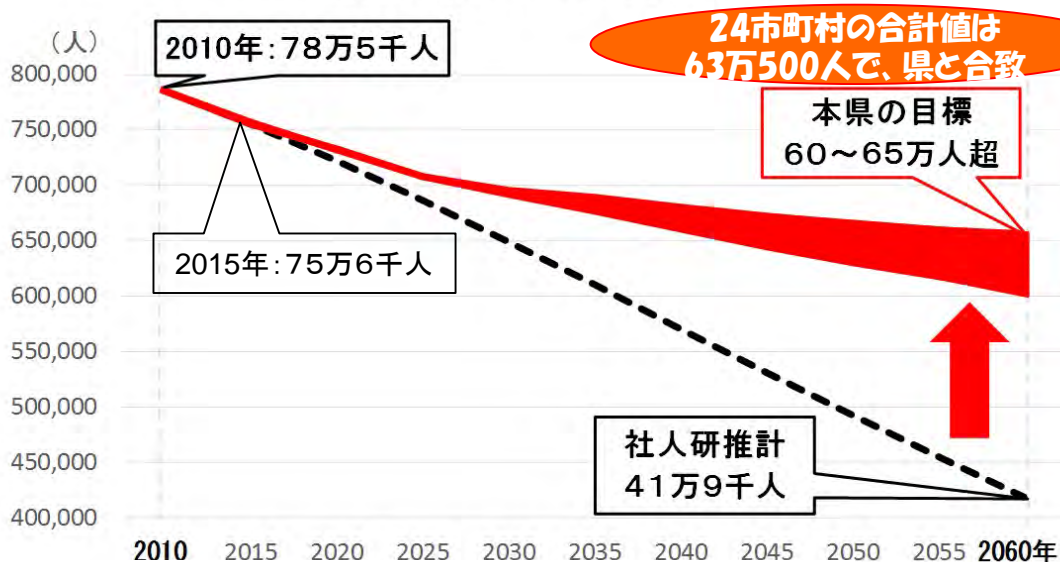
将来展望

- 【自然動態】 合計特殊出生率の上昇
2025年：1.80へ
2030年：2.07へ
- 【社会動態】 転出超過を解消
2020年：転入・転出を均衡
2025年以降、転入超過を目指す

2060年に
「60～65万人超」
の確保を目指す！

「RESAS（リーサス）」活用を通じて展望

徳島県人口の将来展望



- 社人研推計 ■ 国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠
- 本県の目標 ■ 国長期ビジョン「2060年に1億人程度の人口を確保」との目標水準（人口シェア0.6%）を上回る。
- 合計特殊出生率が上昇（2025年：1.80、2030年以降：2.07）するとともに、転入数が転出数を上回る（2020年：均衡、2025年：1,500人超過／年、2030年以降：3,000人超過／年）。

「vs東京」とくしま回帰」総合戦略」を推進エンジンに
“地方創生”を実現！！

2 “進化する”総合戦略！さらなる「地方創生」加速！！

vs東京「とくしま回帰」総合戦略【2015～2019】

1 ひと

目標

- 転入・転出者数：現状1,723人の転出超過 ⇒ 均衡へ(2020年)

2 しごと

目標

- 雇用創出数：5年間で4,000人

3 子育て

目標

- 希望出生率(1.8)を叶える(2025年)

好循環

4 まち

目標

- 徳島版地方創生特区：5年間で10区

➤ 地方創生を取り巻く直近の状況

- 人口減少に歯止めがかかっていない
 <H27国調結果速報 1億2,711万人で 調査開始以来初の減>
- 東京一極集中が加速
 <東京圏へ約12万人の転入超過 (→前年比約1万人増) >
- 地方経済と大都市経済で格差が存在
 <消費の回復が大都市圏で先行、地方では人手不足が顕在化>
 , e t c .

➤ 国「まち・ひと・しごと創生総合戦略」改訂

「総合戦略」策定後の情勢の推移を踏まえ、新たな施策・事業を追加・拡充！

戦略改訂

【KPI】 128

10追加 → 138へ

東京一極集中是正！

人口減少の克服！

「新未来とくしま」の創造

“進化する”総合戦略！！

「地方創生」加速！

日本創成へ！！

3 徳島版「地方創生特区」事業について

国家戦略特区(地方創生特区)

地域限定の規制緩和策により、産業の国際競争力強化、地方創生の実現等を図る制度

《但し、特区の地域指定には高いハードルがある！》

- 全国で10地域と選定箇所が少なく、非常に狭い門であること。
- 特区申請から指定まで約1年の時間を要すること。
また、指定を受けても、法改正を伴う事業は、たちまち動くことができないこと。

地域で出来ることは地域から！
国の動きを待たず、地方創生の芽出しを！

徳島版「地方創生特区」制度の創設(平成27年8月)

- 市町村からの手挙げ方式(提案募集)
- 外部有識者による選定・助言
- 専門家による事業のブラッシュアップ

意欲ある市町村の取組みを総合的に支援！
地域と一緒に事業を創り上げる！

※特区に至らなかった場合も「F/S(フィージビリティ・スタディ)支援」
で事業化可能性の検討を図る！

支援スキーム(パッケージ支援)

- コンシェルジュ機能
(関係機関との連絡調整)
- 県の規制の緩和
- 県税等の減免
- 財政支援
(最長3年間、最大500万円/年
助成率2/3又は10/10)

徳島版「地方創生特区」から国の「特区」へ！

4 徳島版「地方創生特区」の指定事業について ①

板野町「新南海道再興戦略特区」事業

- ・遊休施設を活用したIT企業等の誘致促進
- ・水素ステーションを核とした「道の駅」の整備

○第1次指定 H27.10.13

○第2次指定 H28. 5. 2



石井町「次世代育成・6次産業集積特区」事業
・アグリサイエンスゾーンを核とした農関連産業の活性化

那賀町「徳島ドローン特区」事業

- ・ドローンを活用した地域課題の解決及び魅力発信

美波町「歴史・文化の力でまちづくり特区」事業

- ・赤松地域における農村舞台の復活公演及び薬王寺門前町再生による地域活性化

5 徳島版「地方創生特区」の指定事業について ②

那賀町「徳島ドローン特区」事業



政府初実証実験

○ドローンによる地域課題の解決

- ・林業架線の実証実験
- ・鳥獣害対策×ドローン
アイデアソンの開催

**政府初！無人航空機による
貨物輸送実験の実施(協力)**



○ドローンによる魅力発信

- ・ドローンイベントの開催
- ・国際ドローン展への出展
- ・PRドラマの制作、発信
- ・ドローン体験プログラムの実施
- ・ドローンマップ作成 など

板野町「新北海道再興戦略特区」事業



覚書調印

○遊休施設を活用した IT企業等の誘致促進

- ・コールセンター誘致の実現
※4/19覚書調印、9月開設
- 適化法(目的外使用)に
関する四経局との連絡調整**
- ・大坂口御番所跡を活用した
サテライトオフィスの誘致検討



水素ステーション(イメージ)

○多機能性有する道の駅の整備

- ・水素ステーション、産直市、防災
など多機能性有する道の駅
の整備(基本計画策定中)
- ※県もオブザーバーとして助言

美波町「歴史・文化の力でまちづくり特区」事業



人形浄瑠璃ワークショップ

○農村舞台の復活公演

- ・地域住民とのワークショップ実施

○薬王寺門前町の活性化

- ・文理大学サテライトキャンパス設置
- ・薬王寺ライトアップコンサート開催

石井町「次世代育成・6次産業集積特区」事業



石井町農業振興協議会

○アグリサイエンスゾーンを核とした 農関連産業の集積・活性化

- ・産学民官「農業振興協議会」
の設置
- ・6次産業の促進、特産品開発

6 徳島版「地方創生特区」の更なる展開に向けて

進化する徳島版「地方創生特区」

F/S(フーズビリティ・スタディ)支援

特区指定に至らなかった事業についても、次期特区指定を目指し、具体的な事業化に向けたブラッシュアップを市町村とともに実施。

平成28年度 F/S支援事業

- ・吉野川市「麻による新産業創出特区」
- ・三好市「観光連携による中山間地域農業改革特区」

石井町事業は、平成27年度 F/S支援からの昇格！

情報交流会議の開催

特区市町村間と他の市町村との情報共有・意見交換を行う場として開催。特区事業の横展開と裾野を広げる。

徳島県規制改革会議の設置

全国初となる地方版「規制改革会議」を設置。徳島版特区との密な連携により、特区事業の加速を図る。

国家戦略特区(地方創生特区)への提案

「課題解決先進モデル・とくしま特区」(H28.7.29 提案)

- ・ドローン実用化に向けた実証実験《那賀町との連携》
- ・水素社会モデルの構築《板野町との連携》
- ・観光・インバウンド(民泊)の推進《美波町との連携》
- ・農関連産業の集積・6次産業化の推進《石井町との連携》 など

**更なる連携！
更なる取組み強化！**

**地方創生の旗手・徳島から全国に向けて
地域課題解決の先進モデルを力強く発信！**



～ ご静聴ありがとうございました ～